

株主の皆様へ

# 第18期報告書

2010年10月1日～2011年9月30日

証券コード：3814

## 企業理念



アルファクス・フード・システムは、「食文化の発展に情報システムで貢献する」ことを経営理念に、私たちが提唱する「食材ロスカット」「人件費ロスカット」を実現させる開発方針のもと、外食チェーン企業の情報システムインフラ企業となることを目指しています。

社名の「アルファクス」とは、ギリシャ語で、物事の始まりを意味する「α」と、限りない可能性を秘めた「X」を結びつけた造語です。ご提案するソリューションの最初から最後まで、責任をもって取り組ませていただくという私たちの姿勢を示すものです。

この社名に、フードサービス業界専門の情報システム企業として、お客様と共に、業界発展のお手伝いをしたいという熱い思いを込めています。



## 外食チェーン情報システムの「ソフト」から「ハード」までの、主要3事業

## ASPサービス事業

外食企業様に対して、売上分析・経営指標・在庫ロス分析・勤怠シフト管理・受発注・C K物流・財務連動システムまでの各基幹業務システムをご提供しています。

外食企業様の本部系基幹業務の精度を高めるために必要な店舗システム機器である「POSシステム」及び「オーダーエントリーシステム」の自社開発を行なっています。

## システム機器事業

## 周辺サービス事業

外食企業様向け「ワンストップサービス」の一環として、外食関連の広範囲なWebサービスのご提供や、システム機器などの保守・メンテナンスを行なっています。

アルファクス・フード・システムは、創業以来一貫して、食材／人件費ロス管理を中心とした、経営コストのロスを徹底追求することのできる「基幹業務システム・サービス」の提供を行なっています。

そして、外食チェーン企業の情報システムインフラ企業となることを目指しております。

株主の皆様へ



代表取締役社長

田村隆盛

株式会社 アルファクス・フード・システムは、平成23年度、2機種の新製品本格投入で過去最高の売上高を更新いたしました。

デフレ経済下における外食企業様の競争力を高め、更に、専門性を駆使した情報システムの創造に取り組んでまいります。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、2011年9月期（第18期）におけるわが国経済は、当初新興国を中心とした外需等により景気の改善が一部みられていたものの、3月11日に発生した東日本大震災の影響と、欧州の信用不安を発端にした世界経済の減速、円高など、長引くデフレ環境に更に追い打ちをかける状況となりました。

当社は前期末より外食企業のデフレに対応し、当社の企画生産による内部努力により、システム機器などの生産・調達コストの低減に注力し、機器の販売価格引き下げを実施致しました。

その結果、システム機器の価格競争力の増大と、既存顧客の機器入替更新が順調に進み、第18期は過去最高の売上高を更新しました。

しかしながら、長引いている日本経済の低迷から、機器の低価格化が更に進んでいることや、東日本大震災後の支援協力のためもあり、データセンターの人員配置を増員強化し諸経費も増加したことから、上期と比較しまして下期収益は改善されたものの、前期を超える利益には及びませんでした。

主力の「ASP基幹業務サービス事業」におきましては、店舗計画の見直しによる月額報酬の減少にも目処が立ち、引き続き販売好調が続くシステム機器の納品先を中心に、主力であるASP基幹業務サービスの拡大を目指してまいりたいと存じます。

外食業界を取り巻く環境は、年々厳しさを増しておりますが、本格的に市場投入した「FOODα5000」と有機EL搭載「オー

ダーショット（ハンディショット）」の販売競争力は抜群なものがあり、更に当社は、これまでのロスを徹底追求できる「基幹業務システム」に加えて、第18期下期に、各種販売促進・集客支援サービスを含めた外食統合データベースサービス「FOOD GENESIS」の販売を開始いたしました。

このサービスは、多くの外食チェーンで採用されているポイントカードやプリペイドカードなどの顧客カード情報を、予約、宅配、テイクアウト、通信販売、来店履歴等、すべてにおいて統合したもので、POSシステムの情報や、「基幹業務システム」のデータベースと自動連動し、顧客の個別識別管理を一元的に行なえるようになるサービスです。これは、「基幹システム」から「周辺サービス」、「システム機器」までを1社で提供してきた当社ならではの、差別化できる提供サービスと考えておりますので、更なる営業強化により、各主力事業の販売拡大を図ってまいります。

当社は、国内で唯一、「店舗情報システム機器」と「本部基幹情報システム」の両方を1社で手掛ける外食専門の情報システム・サービス会社で、ロス削減による最大利益確保とコストパフォーマンスにおきましては、25年に亘り高い評価をいただいております。

これからも謙虚さと誠実さを忘れず、お客様の声を第一に、外食業界の情報システムインフラになるよう、製品・サービスの向上に努め、株主・投資家の皆様のご期待にお応えしていく所存でございます。

今後とも一層のご支援ご指導の程、宜しく願い申し上げます。

## 基幹業務から、外部ネットワーク、顧客情報、購買履歴まで。 すべてのデータベースを統合させた、ワンストップのクラウドパッケージ 「FOOD GENESIS」をリリースいたしました。

AFSが6月にリリースいたしました「FOOD GENESIS」は、①予約データベース、②各種カード顧客データベース、③POS会計購買データベース、④通販デリバリー顧客購買データベース、⑤マーケットプレイスデータベース、⑥物流ネットワークデータベース、⑦MAP商圈分析、⑧基幹業務データベースの8つすべてを、一つに統合して管理・運用できるサービスです。

外食チェーン企業が導入するシステムは、各ソリューションごとにそれぞれ開発元が異なっており、それぞれのデータベースを個別に抱えこんでいるのが一般的でした。たとえば、店舗にポイントカードシステムを導入する際も、店舗のPOSシステムにカード読取端末を搭載させ、ポイント管理やプリペイド管理を行ないますが、ポイントカード顧客の購買履歴管理まで行ないたい場合には、POSシステム側のデータベースに、再度顧客情報を入力する手間が必要でした。その手間を軽減するために、データベースを統合しようとした場合、高額なインテグレーション費用がかかることが多く、実現が難しかったのが実情です。すべてをワンストップで行なえる当社においても、当初はデータベースが分かれており、別々の管理・運用が必要でしたが、今回、完全に一つのデータベースに統合したことで、業務負荷の軽減や、質の高い販促のマーケティングデータ、奥行きのある顧客情報などがスムーズにご利用いただくことができるようになりました。

「FOOD GENESIS」を利用していただくことにより、いまや、広く普及している各種ポイントカードや、携帯電話、スマートフォン、PCなどにおいて、顧客が自ら登録している情報などを、すべてのデータベースで共有することができるようになり、余計な業務負荷をかけることなく、顧客識別購買履歴管理から、商圈分析まで、強力なマーケティングツールとしてご利用いただけます。外食業界に特化したAFSならではの強みを生かし、顧客のベネフィットと、ユーザーのプロフィットを十分に満足させられる「FOOD GENESIS」に、ぜひご期待ください。

① 予約データベース

② 各種カード顧客データベース

③ POS会計購買データベース

④ 通販デリバリー顧客購買データベース

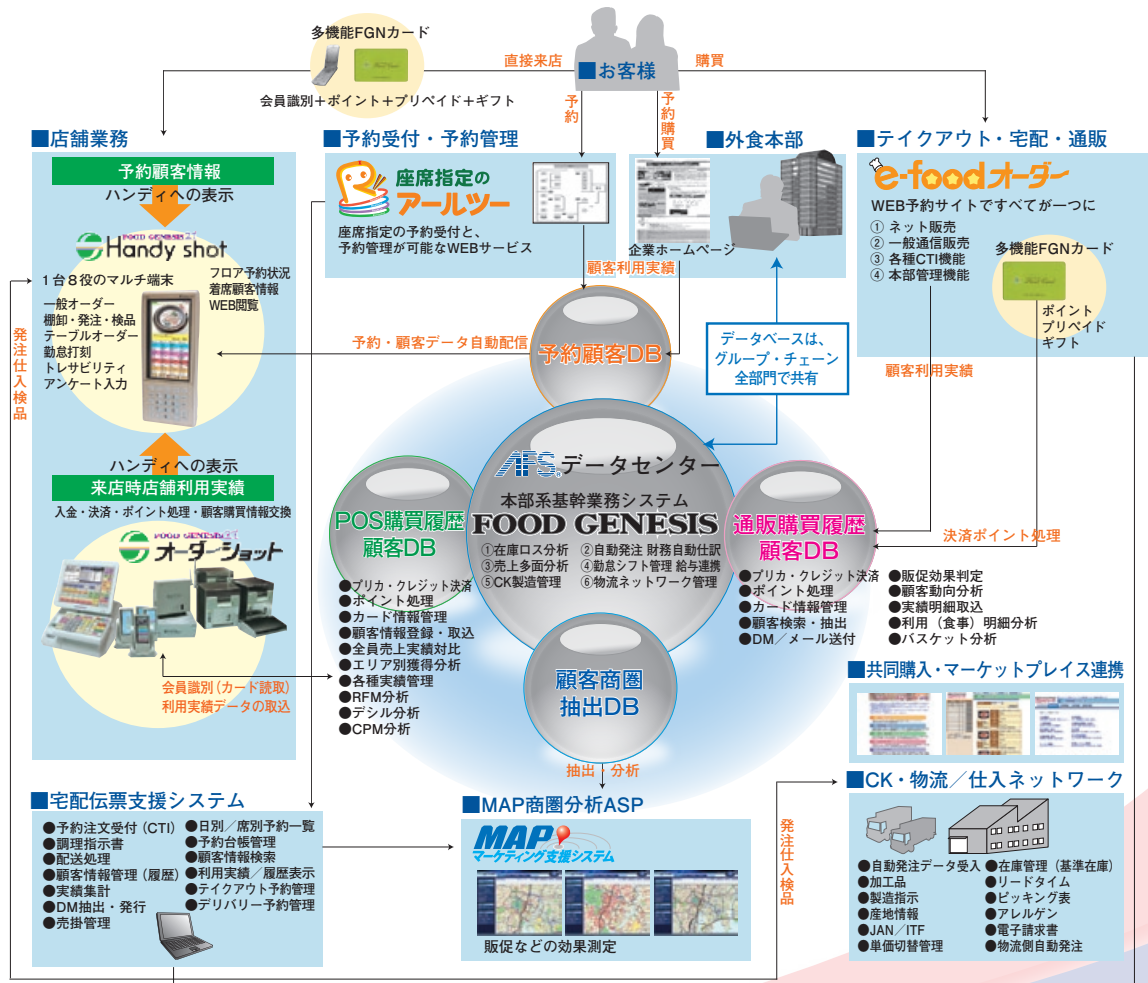
⑤ マーケットプレイスデータベース

⑥ 物流ネットワークデータベース

⑦ MAP商圈分析

⑧ 基幹業務データベース

# 店舗システム機器／基幹業務システム／WEB集客支援サービスを1社で手掛ける、AFS®ならではの業界初の周辺統合一元管理サービスです。



## 事業概要

**AFS**最大の強みは、『店舗情報システム機器』から『本部系基幹業務システム』を1社で手掛けられること。そして、**外食企業様の業務を完全自動連動させ、ロス削減による最大利益確保を実現できること**です。

大手外食チェーン企業にとって、二大原価（食材／人件費）削減から本来あるべき利益を確保していくことは最重要課題であり、店舗展開を行なう上で、その重要度は更に増していきます。しかし、これを実現することは極めて困難で、店舗、本部、CK、複数の外部取引先とのシステム完全連動に加え、異業態の混在や、業務サイクル、コンプライアンス、オペレーションの徹底等、様々な課題をクリアしなければなりません。

このような多岐に亘る課題、複雑なシステム構築においてもすべてAFS 1社のみで手掛け、ロス削減による最大利益確保を実現できることが当社の強みであり、他社が追従できない所以です。

### ★ ASP基幹業務サービス全体概要



大手チェーン企業を中心に全国規模での導入実績を誇ります。



## 事業の概況

## 経営成績



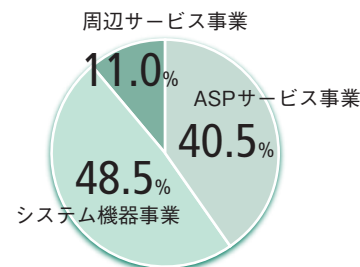
当事業年度におけるわが国経済は、アジア経済を中心とした外需等により景気の改善が一部みられたものの、東日本大震災による電力供給の制約や原子力災害による影響に加え、欧州の財政問題による急激な円高等により、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社の主要販売先である外食産業におきましては、震災の影響による風評被害や消費マインドの低下等は薄れつつあるものの、景気低迷等による節約志向の傾向が依然として強く、引き続き低価格化の企業間競争は激しさを増しており、店舗計画の見直しや新規設備投資の抑制など厳しい状況が続いております。

このような環境のもと、ASPサービス事業におきましては、本格的な回復には至りませんでしたが、店舗計画の見直し等による月額報酬の減少に一定の目処が立ち、またシステム機器事業におきましては、外食産業の低価格化による企業間競争等の影響により、一部に機器価格の下落が生じたものの、店舗機器の入替受注が予想を上回り、順調に推移いたしました。

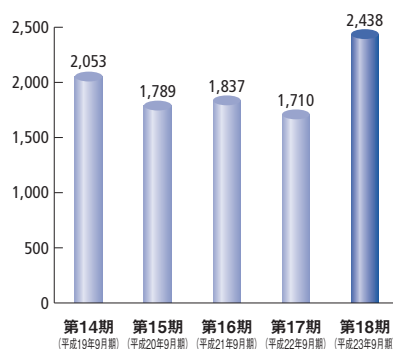
その結果、当事業年度の売上高は2,438,739千円（前事業年度比42.5%増）となりました。利益面に関しましては、ASPサービス事業の回復の遅れによる売上の減少やシステム機器の一部の価格下落、新型ハンディ金型等の償却の発生により、営業利益27,627千円（前事業年度比29.2%減）、経常利益13,466千円（前事業年度比55.5%減）、当期純利益2,199千円（前事業年度比68.3%減）となりました。

## 事業別売上高構成比率（第18期）



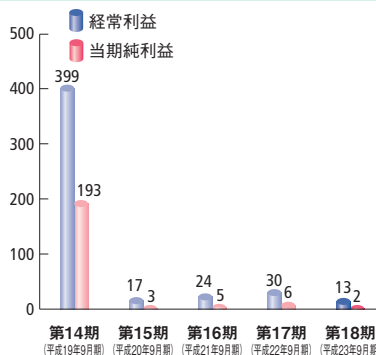
## 売上高

(単位：百万円)



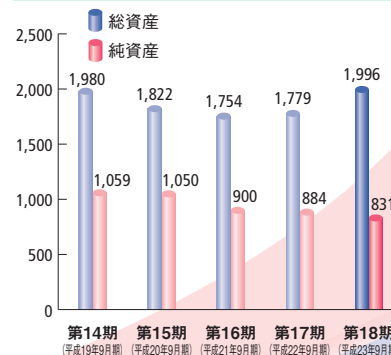
## 経常利益・当期純利益

(単位：百万円)



## 総資産・純資産

(単位：百万円)



## 財務諸表

## 貸借対照表 (要旨)

(単位：千円)

科 目	当事業年度 (平成23年9月30日現在)	前事業年度 (平成22年9月30日現在)	科 目	当事業年度 (平成23年9月30日現在)	前事業年度 (平成22年9月30日現在)
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
流動資産	1,404,795	1,258,826	流動負債	881,618	645,391
現金及び預金	685,171	491,977	買掛金	148,977	28,577
売掛金	288,997	200,596	短期借入金	549,000	469,000
商品	388,030	519,797	1年内償還予定の社債	60,000	40,000
貯蔵品	3,911	567	未払金	13,285	14,642
前払費用	21,268	21,055	未払費用	9,556	8,729
繰延税金資産	22,157	19,212	未払法人税等	15,080	10,552
未収入金	1,344	8,211	預り金	8,479	8,723
その他	274	1,981	前受金	44,871	47,000
貸倒引当金	△ 6,359	△ 4,573	賞与引当金	16,567	13,144
固定資産	585,542	513,673	その他	15,801	5,021
有形固定資産	279,238	231,375	固定負債	282,886	249,725
建物	9,455	10,317	社債	170,000	140,000
車両運搬具	0	1,339	長期借入金	100,000	100,000
工具器具備品	164,763	88,388	退職給付引当金	12,886	9,725
土地	20,429	20,429	<b>負債合計</b>	<b>1,164,505</b>	<b>895,116</b>
建設仮勘定	84,591	110,900	<b>純資産の部</b>		
無形固定資産	65,609	86,531	株主資本	832,062	884,123
ソフトウェア	63,163	34,085	資本金	535,020	535,020
ソフトウェア仮勘定	—	50,000	資本剰余金	143,599	143,599
電話加入権	2,445	2,445	利益剰余金	322,445	337,619
投資その他の資産	240,694	195,767	自己株式	△ 169,002	△ 132,115
出資金	136	126	評価・換算差額等	△ 70	△ 47
長期前払費用	103,337	2,572	その他有価証券評価差額金	△ 70	△ 47
敷金及び保証金	8,549	11,579	<b>純資産合計</b>	<b>831,991</b>	<b>884,076</b>
繰延税金資産	34,145	34,478	<b>負債・純資産合計</b>	<b>1,996,497</b>	<b>1,779,193</b>
長期未収入金	123,455	183,863			
その他	9,110	2,903			
貸倒引当金	△ 38,040	△ 39,756			
繰延資産	6,159	6,693			
社債発行費	6,159	6,693			
<b>資産合計</b>	<b>1,996,497</b>	<b>1,779,193</b>			



## 損益計算書（要旨）

（単位：千円）

科 目	当事業年度	前事業年度
	(平成22年10月1日から 平成23年9月30日まで)	(平成21年10月1日から 平成22年9月30日まで)
売上高	2,438,739	1,710,901
売上原価	1,861,750	1,084,253
売上総利益	576,988	626,648
販売費及び一般管理費	549,361	587,653
営業利益	27,627	38,995
営業外収益	882	2,632
営業外費用	15,043	11,367
経常利益	13,466	30,260
特別損失	43	11,358
税引前当期純利益	13,422	18,901
法人税、住民税及び事業税	13,818	11,941
法人税等調整額	△ 2,595	23
当期純利益	2,199	6,936

## キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：千円）

科 目	当事業年度	前事業年度
	(平成22年10月1日から 平成23年9月30日まで)	(平成21年10月1日から 平成22年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	236,253	△ 24,651
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 125,745	△ 191,485
財務活動によるキャッシュ・フロー	74,286	88,884
現金及び現金同等物の増減額	184,793	△ 127,252
現金及び現金同等物の期首残高	460,077	587,329
現金及び現金同等物の期末残高	644,871	460,077

## 株主資本等変動計算書

当事業年度（平成22年10月1日から平成23年9月30日まで）

（単位：千円）

	株主資本						評価・換算差額等			純 資 産 計	
	資 本 金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	株主資本 合 計	その他 有価証券 評価差額金		評価・換算 差額等合計
		資 準 備 金	本 金 合 計	剰 余 金 計	その 他 利 益 剰 余 金	利 剰 余 金 計					
平成22年9月30日 残高	535,020	143,599	143,599	337,619	337,619	△ 132,115	884,123	△ 47	△ 47	884,076	
事業年度中の変動額											
剰余金の配当				△ 17,373	△ 17,373		△ 17,373			△ 17,373	
当期純利益				2,199	2,199		2,199			2,199	
自己株式の取得						△ 36,887	△ 36,887			△ 36,887	
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額（純額）								△ 23	△ 23	△ 23	
事業年度中の変動額合計	—	—	—	△ 15,174	△ 15,174	△ 36,887	△ 52,061	△ 23	△ 23	△ 52,084	
平成23年9月30日 残高	535,020	143,599	143,599	322,445	322,445	△ 169,002	832,062	△ 70	△ 70	831,991	

## 会社概要・株式の状況

### ■会社概要 (平成23年9月30日現在)

社名	株式会社アルファクス・フード・システム (ALPHAX FOOD SYSTEM CO., LTD.)
創業	平成5年12月9日
資本金	5億3,502万310円
代表者	代表取締役社長 田村隆盛
事業内容	外食企業向け 1.ASP方式による各種イントラネット基幹業務サービス 2.システム機器の企画・販売 3.ハードウェア・ソフトウェアの全国メンテナンスサービス 4.Webによる業界専用ポータルサイト (外食総合eマーケットプレイス)の運営・提供
本社	〒755-0052 山口県宇部市西本町二丁目11番2号 TEL(0836)32-5161(大代表)FAX(0836)32-2292
データセンター	〒755-0052山口県宇部市西本町二丁目14番30号
従業員数	96名

### ■役員一覧 (平成23年12月27日現在)

代表取締役社長	田村隆盛
取締役	宇多田純三
取締役	松崎常男
取締役	福田省吾
取締役	河原克樹
常勤監査役	溝部和昭
監査役	古閑謙士
監査役	堀江義光

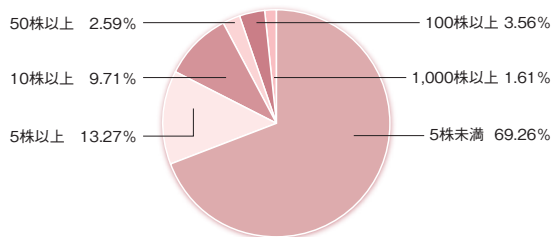
### ■株式の状況 (平成23年9月30日現在)

発行可能株式総数	91,704株
発行済株式の総数	24,991株
株主数	309名
大株主	

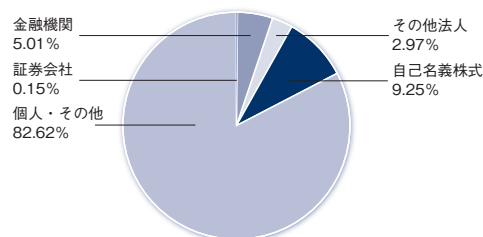
株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
田村隆盛	12,115	53.41
鎌田英哉	4,500	19.84
資産管理サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,242	5.47
根津孝一	695	3.06
株式会社アルゴコミュニケーションズ	375	1.65
藤井裕史	310	1.36
加藤繁夫	300	1.32
江藤鉄男	293	1.29
田村隆次	164	0.72
田村清隆	150	0.66
東和メックス株式会社	150	0.66

(注) 1. 当社は、自己株式を2,312株保有しておりますが、上記大株主からは控除しております。  
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

### ■所有株式数別株主数比率



### ■所有者別株式数比率



アルファクス・フード・システムの主要製品

# 全国の外食産業 7,059<sup>※</sup>店で活躍しています!

※ASP契約店舗数を含む



FOOD GENESIS 21  
**Handy shot**

## 複数の店舗業務をカバーするマルチ多機能端末

入力端末となる「Handy shot」は、1台8役（一般オーダー、棚卸、発注、検品、テーブルオーダー、勤怠打刻、トレーサビリティ、アンケート入力）をこなすマルチ多機能端末です。



FOOD GENESIS 21  
**オーダーショット**

「オーダーショット」は、マルチ多機能端末「Handy shot」をはじめ、店舗でのオーダー業務に最も重要視される操作性、レスポンス、メンテナンス性という基本性能を従来のものより飛躍的にレベルアップさせ、オーダーエントリーシステムの新時代を切り拓きました。これからも「オーダーショット」は、新しい可能性の追求と共に一層、製品の充実を図ってまいります。

業界初の縦置き横置き兼用で、ファミレスからファーストフードまであらゆる業態に対応!

20年以上に亘るPOSシステムのノウハウが結集した最新型フードビジネス専用PC-POSシステムです。



**FOOD 5000**

## 株主メモ

事業年度	10月1日から翌年9月30日まで
定時株主総会	事業年度終了後3カ月以内
上記基準日	9月30日
剰余金の配当基準日	毎年9月30日及び中間配当の支払いを行なう時は3月31日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話0120-232-711（フリーダイヤル）
公告方法	電子公告により行ないます。 但し、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じた時は、日本経済新聞に掲載して行ないます。 なお、電子公告記載の当社ホームページアドレスは以下のとおりです。 <a href="http://www.afs.co.jp/">http://www.afs.co.jp/</a>

株主の皆様へ当社の各種情報を提供する  
ホームページを開設しています。  
<http://www.afs.co.jp/>

当社のホームページでは、株主・投資家の皆様向けのIR情報をはじめ、最新の企業活動をお知らせするニュースリリース、新製品に関することなど、様々な情報を提供しています。



—— 食文化の発展に情報システムで貢献する ——  
株式会社 **アルファクス・フード・システム**

〒755-0052 山口県宇部市西本町二丁目11番2号  
TEL (0836) 32-5161 (大代表) FAX (0836) 32-2292

